

Rotary Yoneyama Memorial Foundation

公益財団法人 ローター米山記念奨学会

2019(平成31)学年度

ロータリー米山記念奨学生募集要項

日本の大学・大学院等在籍者対象

公益財団法人 ローター米山記念奨学会は

日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として
勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し
奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学団体です。

ロータリーとは

地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、職業を通して社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。1905年アメリカ・シカゴで発足し、今では200以上の国と地域に広まり、クラブ数35,633、会員数1,221,978名(2018年1月31日RI公式発表)に成長しています。日本では1920年に、東京で初めてロータリークラブが設立されました。現在、日本ではクラブ数2,265、会員数89,055名(2018年3月末現在)に達しています。

I はじめに

1 目的

ロータリー米山記念奨学会（以下「米山奨学会」と表記）は、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることを目的としています。そのため求められる奨学生の資質は「①学業」、「②異文化理解」、および「③コミュニケーション能力」における熱意や優秀性にあります。

ロータリー米山記念奨学生（以下「米山奨学生」と表記）は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

- | | |
|--------------|--|
| ①学業 | 学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする。 |
| ②異文化理解 | 異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。 |
| ③コミュニケーション能力 | 人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。 |

2 特長

奨学金による支援だけでなく、ロータリークラブによる世話クラブとカウンセラー制度があります。米山奨学生は、世話クラブの例会（会合）に毎月1回以上出席し、カウンセラーやロータリークラブ会員（以下「ロータリアン」と表記）との心のふれあいを通して真の国際・文化交流および相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を共に学びます。

3 ロータリー米山記念奨学生の義務

1. 米山奨学生は、世話クラブであるロータリークラブの例会へ毎月1回以上出席します。
2. 年2回、奨学生レポートを当会に提出します。
3. 例会での卓話(スピーチ)を行い、世話クラブおよびロータリー地区の活動に積極的に参加するなど、ロータリアンとの交流を通して相互理解を深める努力をします。

4 奨学期間終了後も続くネットワーク(学友会活動)

米山奨学生の期間終了後も学友会活動を通して学友(元米山奨学生)同士のネットワークを広げ、ロータリークラブあるいはロータリー組織と連携した活動に参加することができます。

ロータリー米山記念奨学会学友会(元米山奨学生同窓会)は日本国内に33団体、海外では台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマーの9団体、計42団体あります。

Ⅱ ロータリー米山記念奨学会の誕生とその歴史

1 9万人のロータリアンが支援

ロータリー米山記念奨学事業（以下「米山奨学事業」と表記）は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家、米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、また、新公益法人制度の施行に伴い、2012年1月4日をもって公益法人へ移行しました。ロータリー米山記念奨学金はすべて、日本のロータリアンからの寄付によって支えられています。

2 奉仕の人「米山梅吉」

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長の長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、バルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウェスレアン大学（オハイオ州）、シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日のフィランソロピー（Philanthropy）*の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。

また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもありご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らない陰徳の人でした。

3 世界の平和を願って

敗戦後の復興が続く1952年、東京ロータリークラブの会員によって「米山基金設立」の構想が立てられました。そして、世界に“平和日本”の理解を促すことを願って募金が始められました。このようにして、東京ロータリークラブから始まった事業は、その後日本国内全クラブの合同事業として発展しました。

「1カ月に1箱のタバコ代を節約して奨学金に」という合言葉から始まった米山奨学事業は、設立以来、累計で奨学金支給者数20,000人を超え、国籍別では127の国と地域となりました。

* Philanthropy: 語源はギリシャ語の「フィラン（愛）」と「アンソロポス（人類）」から由来している。
人類愛・博愛などと訳され、今日では「社会貢献」と訳される。

Ⅲ 2019(平成31)学年度 学部・修士・博士課程ローター-米山記念奨学生募集要項

1 募集と選考の方法

奨学生の募集および申込みは、留学生奨学金担当者（以下「学校担当者」と表記）を通して行われる。日本のロータリーは34地区で組織・構成され、各地区に選考委員会（以下「地区選考委員会」と表記）を設けている。地区選考委員会が、地区とその近隣に所在する学校を指定し、被推薦者数を提示し、学内選考によって相応しい学生の推薦を募るシステムで募集を行う。指定校は地区選考委員会にて毎年協議され、8月初旬に公表される。指定校にて選抜された被推薦者に対し、地区選考委員会が書類審査・面接選考を実施する。面接は原則として日本語で行われる。なお、連合大学院に属する申込者は、直接指導を受け通学している学校を在籍校とみなし、その在籍校からの推薦が必要となる。また、複数キャンパスがある学校に属する申込者は、通学しているキャンパスの地区の枠での申込みとなる。いずれも指定校になっていることが条件となる。

2 募集人員

新規採用約500名（新規採用は継続者の辞退により変動がある）

3 対象

以下の項目にすべて該当する者とする。

- ① 2019年4月に、文部科学省が所管する日本の大学・大学院に在籍又は在籍予定の外国人留学生。
- ② 学位取得を目的としている者。
- ③ 長期履修学生制度の学生は対象としない。

4 応募資格

下記の項目にすべて該当する者とする。

(1) 国籍とビザについて

- ① 日本国籍を有する者は、応募資格はない。
- ② 応募資格を有する者は、日本以外の国籍（「日本国籍を含まない二重国籍」および「無国籍」を含む）を有し、勉学または研究のための在留資格「留学」で日本に在留している者、または日本の大学等に在学中で法務大臣から「難民」の認定を受けて日本に在留している者とする。

※条件付き応募について：応募段階の在留資格が「留学」、「難民」以外の場合は、2019年3月25日までに在留資格を変更し、在留カード(PDFデータ)を提出することを条件に応募できる。

(2) 指定校・大学推薦制度

当会が定める指定校に2019年4月に在籍、進学、編入し（連合大学院に属する申込者は、直接指導を受け通学している学校を在籍校とみなす）、その指定校の推薦を受けた者。複数キャンパスがある学校に属する申込者は、通学しているキャンパスの地区の枠での申込みとなる。指定校は文部科学省が所管する大学等を対象とする。

(3) 在籍課程・学年

学部課程 2019年4月に学部課程3・4年(医・歯・獣・医学部は5・6年)に在籍する者に

は、応募資格がある。

大学院修士課程 2019年4月に修士課程1・2年に在籍する者には、応募資格がある。

大学院博士課程 2019年4月に博士課程2・3年(医・歯・獣・医学系博士課程は3・4年)に在籍する者には、応募資格がある。

※ 上記と同等とみなされる課程・学年在籍者に応募資格を与える。

※ 修士課程3年制、法科大学院、専門職大学院、薬学研究科、医学系「工学」専攻などは、修業年限によって対象学年が異なる場合がある。

(4) 学業・健康

学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する姿勢や関心を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

(5) 博士の学位

「博士」の学位を既に取得している者に、応募資格はない。

ただし既に取得している博士の学位(名称)と異なる研究をする場合には、応募資格がある。

(6) 年 齢

1974年4月1日以降に生まれた者(45歳未満の者)

(7) 他の機関からの奨学金との二重受給の禁止

- ① 当会からの奨学金は、他の機関からの奨学金(以下「他奨学金」と表記)およびこれと同種の個人に与えられる補助金などと同時に受けることはできない。ただし、地方自治体による学習奨励金(在住の留学生全員が受給の対象となるもの)、学術上の貢献に対する一時的な褒賞金・報奨金・賞金、および授業料免除(減額)またはそれに相当する学校の奨学金、研究に直接必要な費用のみを用途とする研究助成は他奨学金とみなさない。
- ② 研究に直接必要な費用以外を含む研究助成もしくは、授業料免除(減額)またはそれに相当する奨学金以外の学校の奨学金などは、受給額によって判断する。大学・大学院年額:57万6千円未満(「留学生受入れ促進プログラム」旧文部科学省外国人留学生学習奨励費相当額に満たない受給額)は併給を認める。それ以上は認めない。複数の受給がある場合は総額の受給額を対象とする。
- ③ 貸与型奨学金等、併給を認める。
- ④ 申込中に他奨学金を受けていても当会奨学金に申し込むことが出来る。ただし、当会奨学金と他奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。
- ⑤ 当会奨学金と同時に他奨学金を受給した場合には当会の奨学生としての資格が取り消され、他奨学金との重複期間の奨学金を全額返済しなければならない。

種 類	併給の有無
他奨学金	× 金額に関係なく併給を認めない
地方自治体による全留学生対象の補助金・奨励金・奨学金	○ 併給を認める
地方自治体による選ばれた者のみの補助金・奨励金・奨学金	× 併給を認めない
授業料免除・授業料減額 または相当する学校の奨学金	○ 併給を認める
一時的な褒賞金・報償金・賞金	○ 併給を認める
研究助成（研究に直接必要な費用のみ使途とする）	○ 併給を認める
・ 上記にあたらない学校による奨学金など ・ 上記にあたらない研究助成	△ 年額受給費によって判断する。 ○ 金額 < 57 万 6 千円 × 金額 ≥ 57 万 6 千円
貸与型奨学金	返済義務が明確なものに関しては、給与するものではないとみなして、併給を認める。

(8) 米山奨学金の非重複性

過去に米山奨学金を受給した者には、応募資格はない。

5 奨学金と奨学期間

(1) 奨学金額

奨 学 金 種 類	奨 学 金 額
学部課程ロータリー米山記念奨学金	月額 10 万円
修士課程ロータリー米山記念奨学金	月額 14 万円
博士課程ロータリー米山記念奨学金	

(2) 奨学金支給期間

採用された際の学年、および在籍課程への入学月によって奨学期間が異なる。在籍課程へ 9、10 月に入学している場合は、以下のとおり奨学期間が短縮される（終了年月は、各大学の課程修了年月によって異なる場合がある）。奨学期間は、以下の期間を超えることは出来ない。期間途中で課程を修了する場合はその修了年月で奨学期間が終了する。

【4 月入学】

2019 年 4 月 採用時の課程・学年	支給期間	奨学期間開始	奨学期間終了
学部 3、医歯獣医学部 5、修士 1、博士 2、医歯獣医学系博士 3 年目の場合	2 年間	2019 年 4 月	2021 年 3 月
学部 4、医歯獣医学部 6、修士 2、博士 3、医歯獣医学系博士 4 年目の場合	1 年間		2020 年 3 月

【9・10 月入学】

2019 年 4 月 採用時の課程・学年	支給期間	奨学期間開始	奨学期間終了
学部 3、医歯獣医学部 5、修士 1、博士 2、医歯獣医学系博士 3 年目の場合	9 月入学 : 1 年 5 カ月	2019 年 4 月	9 月入学 : 2020 年 8 月
	10 月入学 : 1 年 6 カ月		10 月入学 : 2020 年 9 月
学部 4、医歯獣医学部 6、修士 2、博士 3、医歯獣医学系博士 4 年目の場合	9 月入学 : 5 カ月		9 月入学 : 2019 年 8 月
	10 月入学 : 6 カ月		10 月入学 : 2019 年 9 月

* 4 月以外の入学の場合、奨学期間が短くなる。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

2019(平成31)学年度ロータリー米山記念奨学生申込書

※Family name(姓)と First name(名)を区別しない氏名の場合は全て Family name(姓)の枠にご記入ください。(マレーシア、インドネシア、ミャンマー等の方はご注意ください)				
氏名	Family name(姓)		First name(名)	Middle name
	英文(English)		英文(English)	英文(English)
	漢字(中国・韓国・台湾は必須)		漢字(中国・韓国・台湾は必須)	
カタカナ		カタカナ	カタカナ	
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日 年 月 日 (歳)	国籍・地域	注1
出生地	※中国籍の方のみパスポート記載の出生地をご記入ください。 省区市		在留資格	注2 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> その他()
2019年4月からの在籍予定校と学年 ※連合大学院の場合は、通学している学校	学校名	大学以外	<input type="checkbox"/> 短大・高専・専修学校 ()年 <input type="checkbox"/> 高専専攻科()年 <input type="checkbox"/> 専修学校高度専門士課程()年 <input type="checkbox"/> その他	
	学部・研究科	学部	<input type="checkbox"/> 学部()年→4年制の課程。医学系で4年制もこちら。 <input type="checkbox"/> 医・歯・獣・薬学部()年→6年制の課程	
	学科・専攻	修士	注3 <input type="checkbox"/> 修士()年	
		博士	注3 <input type="checkbox"/> 博士()年→3年制の課程。医学系で3年制もこちら。 <input type="checkbox"/> 医・歯・獣・薬学博士()年→4年制の課程	
入学月	月入学	2019年4月在籍予定校に編入学予定ですか？既に在籍、あるいは、修士・高専専攻科入学予定の方は「いいえ」にチェックを入れてください。		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
卒業予定年月	年 月			
2018年10月現在、博士の学位を取得していますか？ <input type="checkbox"/> はい (博士号称) <input type="checkbox"/> いいえ				
米山奨学金を受給したことがありますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ				
右記に該当する場合にチェックを入れてください。		<input type="checkbox"/> 修士修業年限3年制 <input type="checkbox"/> 専門職大学院 <input type="checkbox"/> 法科大学院		
連合大学院在籍者は在学証明書が発行される学校(基幹校)名を記入してください。		連合大学院名		

注1) 国籍・地域：台湾の場合は、在留カードに表示される国籍・地域が中国であっても台湾とご記入ください。

注2) 在留資格：申込み時点で「留学」、「難民」(地区奨励は「留学」「研修」「文化活動」)でなくても、翌年3月25日までに在留資格を変更し「在留カード(PDF)」を提出する予定であれば申込みは可能です。現在の在留資格をご記入ください。

注3) 2019年4月在籍予定校：博士課程一貫性の制度を設けている学校は、博士課程前期を「修士」、後期を「博士」と記入。

経歴書

申込番号 (学校担当者記入：専用 WEB 画面参照)
19RY

氏名漢字 (漢字名がある者のみ、公的に使用している漢字を記入)		氏名 奨学会が発行する、英文証明書発行の際の公的な氏名順を確認するためご記入いただきます。 Mr./Ms.	
現住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
携帯電話 (ない場合は自宅電話)	- -		
E-mail アドレス	@		
母国住所 (英文または漢字/ 郵便番号、国名含む)			

注：高等学校・高等専門学校入学から 2018 年 10 月に至るまでの学歴を記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入。高等学校を卒業せず大学検定合格等の場合は、試験名と合格年月日を記入。

学 歴	期 間	学校名 ※高専や大学 (院) の場合は学部・研究科/学科・専攻/課程などを記入。 (例：米山大学 文学研究科 日本文学専攻 博士課程)	キャンパス所在国
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 2018 年 10 月 在籍		

学校担当者の方へ

上記「申込番号 (学校担当者記入)」は、専用 WEB 画面にて申込書内容を登録時に付与される「申込番号」となります。学校担当者が転記してください。当用紙と以下提出書類 (経歴書 2/3、3/3、指導教員からの推薦状、研究計画書、小論文他) はアップロード用に PDF 化する前に必ずご記入ください。

申込番号 (学校担当者記入)

19RY

2019年 4月在籍	学校名	キャンパス名	所在地 (都道府県・市区町村郡)

前ページの学歴の中で、休学している場合は以下をご記入ください。

休学期間 年 月～ 年 月	休学理由：
復学年月 年 月	
復学した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士 () 年生	

前ページの学歴の中で、留年したことがある場合は以下にご記入ください。

留年した年月 年 月	留年理由：
留年により重複した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士 () 年生	

職 歴 (兵役を含む)	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容	勤務期間
				年 月～ 年 月
				年 月～ 年 月
				年 月～ 年 月
				年 月～ 年 月
				年 月～ 年 月

奨学期間予定中に、日本を3ヵ月以上離れる予定はありますか？	<input type="checkbox"/> はい 行き先： 期間： 目的： <input type="checkbox"/> いいえ
-------------------------------	---

氏名（日本語表記）	申込番号（学校担当者記入） 19RY
-----------	------------------------------

(注)2018年10月の状況を記入

右記情報は、合格後、世話クラブへの参考資料とさせていただきます。選考には関わりはありません。	収入	2018年10月現在 受給中の 奨学金	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(名称 _____ /月額 _____ 円/期間 _____ 年 月~ _____ 年 月) ※他奨学金受給中も当会奨学金に申込みことができます。ただし、当会の奨学金に合格後、二重受給になる場合はどちらの奨学金を受給するかを選択していただきます。 上記奨学金は、大学が授業料免除・減額として出している奨学金ですか？ <input type="checkbox"/> はい → 二重受給の対象となりません <input type="checkbox"/> いいえ			
		仕送り	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (仕送人続柄: _____)	月額 _____ 円	
		アルバイトなどの給与	(アルバイトの内容: _____)		月額 _____ 円	
		その他	(内容: _____)		月額 _____ 円	
	日本に 在留する 親・配偶者 の収入	奨学金(名称: _____)	(期間: _____ 年 月~ _____ 年 月)		月額 _____ 円	
		給与(アルバイト含む)			月額 _____ 円	
		その他			月額 _____ 円	
	家賃 (アパート・寮・ その他)	月額 _____ 円	授業料 (入学金、施設費 等は含まない)	2018年10月現在 年額 _____ 円	上記の内自己負担額 _____ 円	
				全額免除されている場合は0と記入。減免されている場合は自己負担のみの額。現在、減免申請をしていて結果がまだわからない場合は減免無しでの額を記入		
	①～⑤は必ず記入すること。該当しない場合は「なし」と記入すること。					
氏名	続柄	年齢	国籍	現住所(国・都市名のみ)	勤務先・在学名	備考
	① 配偶者					
	② 子供					
	③ 父					
	④ 母					
	⑤ 兄弟 姉妹					

(注)家族の中に以下に該当する者がいる場合、備考欄に必ず記入すること。
 ・過去に米山奨学生であった者(奨学金名・奨学期間) ・現在、米山奨学生である者(奨学金名・奨学期間)
 ・米山奨学金申込み予定者(米山奨学金申込み・在籍大学) ・親、配偶者が日本に在留する場合(在留資格)
 ・国費奨学金あるいは他の奨学金受給者(奨学金名・月額奨学金・奨学期間)
 ・死亡した者については、氏名・国籍を記入し、備考欄に死亡と記入

